

三和中学校通信

第 4 号 H19.6.13

広島市立三和中学校

TEL928-5808 FAX928-4458

平成19年 6月

<http://www.sanwa-j>

先日、校長室だよりで今年度の三和中学校教育目標についてお伝えしました。今回の通信では、学校経営計画についてお知らせします。

平成19年度 学校経営計画

校訓 和魂行

学校教育目標

「互いに協力・協調し、自主性に富み、共に実践する心優しい生徒の育成」

基本理念

憲法、教育基本法に示されているところに従い、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の成長をめざし、平和で民主的な国家及び社会の形成者にふさわしい資質と実践力を持った人間の育成に努める。

- 1 自分の生命を大切にするとともに、相手の生命を大切に思いやりのある優しい心情を養う。
- 2 自分で課題を見付け、自ら学び・考え、主体的に判断・行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を培う。
- 3 学習、勤労、奉仕等の実践・体験活動を通して、忍耐力・公正な判断力と実践力を培う。

目指す学校像(ビジョン)

- 1 自ら、明るく元気よく挨拶ができる学校
- 2 明るくきれいな学習環境を、工夫し維持ができる学校
- 3 温かい仲間づくりと規律ある生活ができる学校
- 4 日々の学習・部活動や行事に一生懸命取り組む学校

目指す生徒像

- 1 明るく元気よく挨拶ができる生徒
- 2 気持ちよく学習ができる環境作りができる生徒
- 3 仲間への思いやりと規律正しい生活ができる生徒
- 4 自分からすすんで学習・部活動や行事に取り組む生徒

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策
学 力 の 向 上	学びの共同体づくりに取り組み、学ぶ意欲を育て、基礎・基本の力の定着を図る。	授業改革に取り組み、生徒の学ぶ意欲を育てる。 「活動的で協同的で表現的な学び」のある授業づくり	1 時間の授業の中に協同的な活動のある場面を作る。 (生徒同士が、よく聴き合うことを基本にして、学び合いに育てる。)
		基礎・基本の定着を図る。	国語・数学・英語は、定期的に小テストや単元テストを行う。社会や理科もこれに準じて実施する。 (協同的な活動でも活用し、学び合いにより基礎・基本を高める。)
			放課後、選択教科、長期休暇等を利用した補充学習を、学校全体の取組として計画的に実施する。
		「学びの共同体づくり」の研修会や授業研究を計画的に行い、指導力の向上を図る。	校内授業研究を4回行い、指導力を高める。市中研や小中合同研究会での授業研究もこの観点で実施する。
		先進校の研究会や研修講座等に参加し、報告会で研修し、教師集団で共有する。先進校の研究会に積極的に参加する。	

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策
豊かな人間性の育成	積極的な生徒指導（生徒指導の3機能を生かした生徒指導）に取り組み、よりよい人間関係づくりを推進し、自他ともに大切にする豊かな人間性や社会性をはぐくむ。	学校生活での基本的な生活習慣やマナーの向上を図る。	<p>時間を守ることの大切さを考えさせ、身につけさせる。</p> <p>自ら挨拶ができる学校づくりのために、教職員間はもとより、生徒に挨拶を積極的に行い、教職員が生徒の見本となるように心がける。</p> <p>美化感覚を身につけるために、掃除の指導を徹底する。</p>
		特別活動を通して、生徒同士で互いに関わり合うことのできる力を育て、問題行動や不登校を克服する。（よりよい人間関係づくりを進める。）	<p>「よく聴き合う」を基本として、柔らかな問い掛けをして、生徒の思いを聴き取る。教育相談を年3回実施する。</p> <p>不登校対策委員会を毎週開き、方針を立て、チーム対応など組織的に取り組み、不登校、問題行動の未然防止に努める。不登校生徒、問題行動を減少させる。</p>
		特別活動や部活動に積極的に参加させ、個性を伸ばし、やる気を育てる。	<p>生徒会や学年、PTA等の奉仕活動・ボランティア活動に多くの生徒が参加するように育てる。</p> <p>学校行事や体験活動に積極的に参加させて、自分の良さや頑張りを見付けさせ、達成感を持たせる。</p> <p>部活動に積極的に参加させて、自分の良さや頑張りを見付けさせ、達成感を持たせる。</p>
		必要に応じた学校情報を積極的に発信し、開かれた学校づくりを進める。	<p>学校だよりや学年だより、進路だより(3年)、保健室だよりを毎月発行して、学校の状況や取組を保護者に知らせる。</p> <p>ホームページの更新を毎月2回以上行い、学校の様子を積極的に公開する。</p>
		地域の諸活動への参加、職場体験学習実施などで地域・保護者と連携した教育活動を実施する。	<p>職場体験学習を3日間行う。そのために、地域や保護者と連携し、事業所を90箇所以上確保する。</p> <p>地域懇談会を実施したり、地域の会合や行事・活動に多く参加して、地域や小学校との連携を図り、地域での子育てを進める。</p>
		積極的に情報の発信を行い、地域・保護者との連携を深め、信頼される開かれた学校づくりを進める。	
まちぐるみによる教育の推進			

学校経営計画とは、学校教育目標を達成するための具体的な方法を決めているもので、学校の取り組みを評価する学校評価と密接に関連しています。

学校経営計画は「学力の向上」「豊かな人間性の育成」「まちぐるみによる教育の推進」の3領域からなります。それぞれの領域は「中期経営目標」に分かれ、さらに今年度中の達成を目指す「短期経営目標」に分かれています。「具体的方策」とは「短期経営目標」を達成するための文字通り「具体的な方策」です。

昨年度末3月の学校協力者会議では、19年度も学校経営計画を大きく変えることなく「仲間づくり」を中心におき、授業づくりや人間関係づくりに取り組むよう提言がありました。本校におきましても取り組みの継続性をふまえ、今年度も昨年度の取り組みを踏襲した学校経営計画となっています。

なお、18年度の取り組みの評価及び今年度のよりくわしい経営計画は

